友人および大学教員からのサポートの活用に関する援助要請スキルと小集団閉鎖性が及ぼす影響

水野 雅之

(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部)

キーワード：サポート資源の活用、援助要請スキル、小集団閉鎖性

Effect of help-seeking skill and exclusive attitudes toward other small group
on utilization of supports given by friends and teachers in university

Masashi MIZUNO

(Department of Psychiatric Rehabilitation, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry)

Key Words: utilization of support resource, help-seeking skill, exclusive attitudes toward other small group

目 的

進路を決められないことは「進路不決断 (career indecision)」と概念化され、研究が進められてきた (下山, 1986 など)。従来、進路不決断は発達過程で普通に見られるものと捉えられていたが、進路に関する情報提供を中心としたガイダンスだけでは進路決定にはつながらない者が一定数存在することが明らかになり、現在では何らかの支援が必要であると考えられる。

進路未決定への有効な支援を検討するにあたってキャリア意識に注目した水野 (2015) は、友人や大学教員からのサポートを活用することによって、キャリア意識が高まることを示した。しかし、友人や大学教員のサポートが有用であっても、そのサポートを活用するためにはどのようなアプローチが有用であるかについては先行研究では示されていない。そこで、本研究では水野 (2015) で得られた知見に基づき、進路未決定への支援に有効である友人と大学教員からのサポートを活用することを促進する要因と抑制する要因について検討することを目的とする。

なお、本研究ではその促進要因として援助要請スキルを、抑制要因として小集団閉鎖性を取り上げる。また、小集団閉鎖性が高い場合、援助を求める対象が自身の人間関係の中に少ないと考えられる。そのため、小集団閉鎖性が高い場合、援助要請スキルは高くとも友人や大学教員からのサポートの活用は低くなると考えられる。

方 法

調査対象者 大学3校の2～4年生 213名 (男性=103名, 女性=109名, 不明=1名, $M=19.84$ 歳, $SD=0.97$)。

調査時期および調査手続き 2014年6月～7月に質問紙を大学の講義時間に配布し、回答を求めた。

調査内容 (1) 進路選択に関するサポート資源活用尺度 (水野, 2014) 資源ごとにサポートを実際に活用した程度を測定する尺度。8下位尺度のうち「友人」と「大学教員」の2下位尺度を用いた (2) 援助要請スキル尺度 (本田・新井・石隈, 2010)。 (3) 小集団閉鎖性尺度 (吉村, 2004)。

結 果 と 考 察

援助要請スキルと小集団閉鎖性が友人と大学教員からのサポートの活用に関する影響について検討するため、階層的重回帰分析を行った。Step1で学年、性別 (1. 男性, 2. 女性) を、Step2で援助要請スキルと小集団閉鎖性を、Step3で援助要請スキルと小集団閉鎖性の交互作用を投入した。なお、交互作用項の作成には援助要請スキルと小集団閉鎖性の得点を中央化した値を用いた。

まず、友人からのサポートの活用については交互作用の値は有意ではなく、性別と援助要請スキルが正の標準化回帰係数を示した。一方、大学教員からのサポートの活用では交互作用を追加した際に分散説明率の増分が有意傾向の値を示した。交互作用が有意傾向であったため、Aiken & West (1991) の手法に基づいて、単純傾斜検定を行った。その結果、小集団閉鎖性が高いとき、援助要請スキルの高低によって大学教員からのサポートの活用には差がみられないことが示された (Figure)。以上から、本研究の仮説は部分的に確認された。

Table 階層的重回帰分析の結果

		友人からのサポートの活用			大学教員からのサポートの活用		
		β	R^2	ΔR^2	β	R^2	ΔR^2
Step1	学年	.08	.04 *	.04 *	.22 **	.04 *	.04 *
	性別	.16 *			.02		
Step2	援助要請スキル	.38 **	.19 **	.15 **	.17 †	.15 **	.11 **
	小集団閉鎖性	-.03			-.25 **		
Step3	援助要請スキル×小集団閉鎖性	-.04	.19 **	.00	-.11 †	.16 **	.01 †

Figure 単純傾斜分析の結果